

【第2編 金融 4-8】さまざまな為替の変動要因～後編～
～為替レートはこうして動く！～

(1)変動要因(続き)

①金利(投資)

・金利＝お金の値段→需給バランス

・今は投資目的で、巨額のお金が世界を駆け巡る時代

・日本から見た場合、

・金利上昇＝円高要因

・金利下落＝円安要因

・その国の株式市場の上昇が強く見込まれる場合、

その国に投資マネーが流入

→結果として通貨高になる

・金利変動は国境を超えて影響を及ぼす

→新興国は投資マネーを呼び込むために高金利にする

→先進国が利上げをすると、新興国から投資マネーが流出する可能性あり

②金融政策

・金利を引き下げる

・世の中のお金の量を増やす

→このような動向からインフレが誘引され、

結果として物価高・通貨安が要因になる

③キャリートレード

・各国の金利差に目をつけた投資資金の調達

→金利の安い国から資金調達をする

→投資ブームのときに起こる(＝リスクオン)

・有事の円買いが生じるのは、巻き戻しが起こるため